



加悦谷 ニュースレター



一人一人の可能性を伸ばす
加悦谷高等学校
宮津天橋高等学校
加悦谷学舎

vol. 6 (11月)

題字：書道部
細見 ひな (2年) 作

生徒指導部長からのメッセージ



第18回ショパン国際ピアノコンクールはカナダ人のBruce (Xiaoyu) Liuさんがmade in ITALYの明るい音色を持つピアノ「Fazioli」を巧みに操り、栄えある第1位を獲得。先月、感動に包まれ閉幕しました。日本人も反田恭平さんが2位、小林愛美さんが4位とダブル入賞の快挙でした。ピアノの世界最高峰といわれるショパンコンクールですが、今回からYouTubeを通じて全世界に生配信され、今までにない盛り上がりを見せました。コンクールは1次予選から2次、3次と続き、ファイナルへ進出できる選ばれし精鋭はわずか12名のみ。この勝ち上がり方式、負けたら終わりの緊張感は、分野は違えど全国インターハイを目指す戦いによく似ていると感じました。今回、私は特に反田さんに注目していました。彼は前回(5年前)敗退の反省から一念発起、ポーランドに留学【主体的】。首都ワルシャワにあるコンクール会場近くに住み込み、音楽のみならずポーランド人の国民性、歴史や自然など、ショパンの祖国を日常生活での人との交流や体験【対話的】を通じて広く深く学んだそうです【深い学び】。また、演奏に力強さを出すため筋力トレーニングを行い、肉体改造を図るとともに、日本人らしさも加味したいというこだわりから、オールバックにし、後ろ髪を束ねるサムライヘアーで当日の舞台に臨みました。ファイナルのコンチェルトでは、それらの努力が演奏に乗り移り、多くの聴衆の心をつかみました。まさに究極の準備力と執念でつかんだ第2位であったと言えます。

最高の舞台を夢見て成功イメージを温め準備をしていく。その過程においては失敗しても成功したとしても反省を忘れず、すぐに次の行動に移す。吟味も必要だが立ち止まったりせず、サイコロを振るように前に進む。たとえ振りだしに戻ることにしても、またサイコロを振って進めばいい。至らなかった未熟な自分を認める素直さと、変わる勇氣。これさえあればなんだって乗り越えられる気がします。中・高校生みなさん。人生は山あり谷あり

です。勉強に、部活動に、受験に、サムライソリスト・反田さんのように「素直さと勇氣」で日々立ち向かい、夢を実現させてください。応援しています！

生徒指導部長・保健体育科主任・陸上競技部顧問 木村純樹

【2, 3年生】与謝野町長と意見交換を行いました。

毎年実施している与謝野町長との対話授業を、10月1日(金)に行い、与謝野町長の山添藤真様に来校いただきました。町長対話授業は、「もっと若い人たちの声を聴きたい」という与謝野町長の想いから始まり、15年ほど続いている取組となります。始まった当初は役場の方が主導で行っていましたが、昨年度から本校の生徒が実行委員会を立ち上げて、企画・運営を行っています。

今年は、2部構成として、1部には「町長の仕事と町長が高校生に望むこと」として講話いただきました。その話を受けて、2部では、生徒と町長とで意見交換を行いました。

「もっと若者が遊べる場所をつくれないのか。」

「ポイ捨てが気になる。こういったごみを集めてリサイクルなどをすることはできないのか。」

「阿蘇海が汚いのがすごく気になる。例えば、ごみ拾いをしてくれた人にお礼の品を渡す、などの取組をしてみてもどうか。」

など、色々な意見や質問を町長に投げかけていました。

時に町長を唸らせるような意見を出す場面などもあり、「非常に有意義な時間でした。」とのコメントもいただきました。実行委員として参加した生徒は「楽しかった！」と初めての経験ながら達成感に満ちた顔をしていました。

今回の意見交換を受けて、町の景観保護に関して高校生でできることがないかを探っていく予定です。



＜↑町長対話授業の様子＞

【PTA】きもの着付け教室を実施しました。

10月27日(水)、PTA主催 きもの着付け教室を実施しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施できま



せんでしたが、今年度は人数を制限し、十分な感染防止対策を施して、開催することができました。

今回は和装の中でも比較的容易に着ることのできる浴衣を扱いました。浴衣を着る機会も減っており、浴衣や小物を触るのも初めて、という生徒もいましたが、講師の模範を見ながら自分たちで無事に浴衣を着ることができました。



＜参加した生徒たちの様子＞

参加した生徒からは、「難しかったけど楽しかった！」との感想で、着付け教室が終了してからも、しばらく校内を歩くなどして、浴衣を着ている時間を楽しんでいました。

講師の先生方、PTA役員の皆様、誠にありがとうございました。



色々な制限がかかる中での開催でしたが、最後の最後までどのブロックが優勝になるか分からない接戦で、どの競技も非常に盛り上がっていました。

家

「想像していた以上に子育てを支援してくれている方々がいて、驚きました。」



との感想があり、子育て支援の理解を深める機会となりました。

10月31日(日)、中学生対象に学校公開を行いました。入学後の高校生活をリアルに想像してもらえるように、実際の授業と

本校では自分でも気づけな
かった色々な可能性を見つ
けることができます！ぜひ宮
津天橋高校加悦谷学舎を進
学候補に御検討ください！！

＜部活動見学の中학생と接する生徒たち＞



京都府立
宮津天橋
高等学校
加悦谷学舎

今、加悦谷がNEW TYPE

生徒たちの学校生活なども更新中！ Web サイトもご覧ください

検索 

検索 

kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

高校HPの
QRコード⇒

